

県連事務局長就任のあいさつ

第21回岐阜県民医連総会で事務局長に就任した山田二郎です。
 本職は、臨床検査技師です。1978年に本職となり40年、1985年に岐阜勤医協に入職し33年が経ちました。2001年からは県連理事、2002年からは総務課、医局事務局、みどり病院事務長を経験してきました。
 2016年には、すべての要職からは引退して、一臨床検査技師として65歳を迎えるつもりでしたが、この度県連事務局長となりました。岐阜県民医連に加盟する法人とそこに勤務する職員が民医連職員として成長できるよう、また、地域のみなさんが安心して住み続けることができる世の中になるよう微力ながら尽くしていきたいと思っております。

2018年度 募 集 ボランティア

- すこやか透析センター 朝の患者さんの身の回りのお手伝い(月・水・金 8:30～9:10頃)
- すこやかデイサービス 利用者さんのお話相手・お楽しみ活動のお手伝いなど(月～土曜)
- 園芸ボランティア みどり病院周辺の花壇の手入れ
- 喫茶ひだまり ケアハウスささゆり内での喫茶(毎週月曜 13時～15時)
- その他 音楽・脳トレ体操・30分程の出し物(手品・ギター・歌・落語などなんでも)

※登録した方はボランティア保険に加入します。交通費支給あります。

お問い合わせ
 岐阜健康友の会 担当者 加藤久美子
 電話・FAX 058-244-3522
 メール tomonokai@gifu-min.gr.jp



医療法人岐阜勤労者医療協会 第42回 定期社員総会公告

- 日時:2018年5月26日(土) 9:30～12:30
- 場所:すこやか透析センター2階会議室
- 議題:第1号議案 運動方針(17年度の総括と17年度の活動方針)
 第2号議案 17年度決算報告と監査報告
 第3号議案 18年度事業計画と予算案
 第4号議案 18年度年俸制役員の報酬等
 第5号議案 定款変更
 第6号議案 特別決議

岐阜健康友の会 第36回 定期総会のご案内

- 日時:2018年5月26日(土) 13:30～15:30
- 会場:すこやか透析センター2階会議室
- 議題:第1号議案 2017年度活動報告
 第2号議案 2017年度決算報告・監査報告
 第3号議案 2018年度活動方針案
 第4号議案 2018年度予算案
 第5号議案 役員改選・その他

ケアハウスささゆり地域交流ホール「健康と文化」公開講座と映画会のお知らせ

2018年5月から6月までの「健康と文化」講座と映画会の予定をお知らせします。講座は、NPO法人生活サポート・助け足ネットのまちづくり事業として開催しています。映画会は、「高齢者施設をつくる会」の文化活動として取り組まれています。参加費無料・予約なしでどなたでも参加できますので、お気軽にご参加ください。

問い合わせ先:みどり福祉会 058-244-1200 岐阜市北山1-15-25

※講師の方と会場の都合で、日程と内容が変更となる場合がございます。ご了承ください。

	健康講座	文化講座	映画会(2時～)
5月	「受動喫煙と新型タバコ」 5月12日(土)2時～3時 吉田 昌樹さん	子どもや孫の未来と憲法9条改正問題 5月19日(土)1時30分～3時 岡本 浩明 弁護士	5月16日(水)
6月	「認知症対応の基本」 6月9日(土)2時～3時 心をつなぐホットメイト会	「みんなで歌いましょう!」 6月23日(土)2時～3時 うたごえサークル結(ゆい)	6月20日(水)



第262号
2018年5月

発行責任者:渡邊 優
 岐阜健康友の会
 岐阜市北山1丁目13番11号
 事務局/電話・FAX
 (058) 244-3522
 E-mail
 tomonokai@gifu-min.gr.jp

2018年2月末日現在
 会員数10,590人
 基金合計4億4614.8千円

全日本民医連第43回定期総会が開かれました

岐阜健康友の会事務局長 熊崎 辰広



3月22日から24日まで広島国際会議場にて、全国民医連第43回定期総会が開かれました。代議員ではなく全国連絡員としてのオブザーバー参加でした。全国から600名近い代議員が参加、岐阜からも4人が参加しました。岸本事務局長の運動方針案の提案に対し、方針を深める立場から、2日間かけて熱心な発言がありました。討論では、

東日本大震災や熊本自信、九州北部豪雨の現状について宮城、福岡、熊本の代議員が発言し、また格差・生活困窮による口腔崩壊の増加(北海道)、若年の孤独死(山梨)など、実践に基づく活発な発言がありました。今回の方針の一つの柱として、地域における福祉力を強め、共働組織とともに「まちづくり」の実践を強めることが提案されました。

また総括では、6月に民医連結成65年を迎えることから「民医連の歩みは平和・人権・民主主義の価値を確立してきた日本社会と一体のもの。憲法を守り抜く意義をしっかりと確認し、全国で大きな運動を作っていこう」と提言されました。民医連とともに共同組織(友の会)の運動に課せられた課題の大きさも感じる事ができた大会でした。



わらべ保育所テープカット

健康春秋

「辺野古新基地はつくれぬ」この特集を組んだ『世界』三月号の論文「辺野古新基地建設はなぜ頓挫する」の筆者北上田毅氏は土木技術者であり、「八方塞がり」に陥りつつある防衛局として次のように指摘する▼ひとつは疑われる活断層の存在である。最近の防衛局の発表でもその疑いは消えていない。活断層の上に大量の弾薬や化学物質を扱う軍事施設は建設できないのである▼さらに、大浦湾海底部の厚い琉球石灰岩層の存在で、地盤がかなり軟弱であり、大型構造物を支える強度がないという問題がある。つまり辺野古の新基地は政治的な理由ではなく物理的に建設が不可能であることが示されているわけで、これだけでも建設は頓挫する理由があるのである▼しかし工事は自動的にには頓挫しない。阻止・監視行動をいっそう強化し、知事を支える必要があるのである。(K)